令和3年度第17回庁議提案 審議・報告・その他

提 出 日:令和3年12月6日

担当部・課:産業部農林課[内線3554]

① 件 名

主食用米次期作支援事業の実施について

② 施策等を必要とする背景及び目的(理由)

【背景】

新型コロナウイルス感染症の影響により、外食産業を中心に主食用米の需要が減少したことから、本市の主力品種である「ひとめぼれ」・「ササニシキ」などの概算金が、令和2年産米と比較して、令和3年産米は60kg当たり3,100円減額し、「ひとめぼれ」は9,100円、「ササニシキ」は9,200円となっており、稲作農家の経営に大きな影響を与えている。

【目的】

令和4年産米の作付に係る種もみや肥料などの生産資材購入に要する経費の一部を助成し、稲作 農家の営農継続を図るもの。

③ 根拠法令及び総合計画又は個別計画との整合性

【根拠法令】

【〔総合計画との整合性 総合計画の位置付け: 有・無〕 又は 〔個別計画との整合性〕】 第4章 多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち

第3節 魅力的な農林畜産業の振興

6 持続可能な農業経営体を育成する

④ 提案に至るまでの経過(市民参加の有無とその内容を含む。)

令和3年 9月 全農宮城県本部が令和3年産米の概算金を決定

10月~11月 令和3年産米の概算金下落を受け、県内自治体が支援策を表明

11月 市議会議長をはじめ、各会派から米価下落に対する支援策の要望書提出

⑤ 主な内容

農業者の営農継続に向けて、令和4年産の主食用米の作付に必要な種もみや肥料などの生産資材購入に要する経費に対し、10a当たり4,000円を助成する。

生産資材購入費(種苗費・肥料費)の10a当たり平均が12, 107円であること、過去に次期作支援として実施された事業の補助率が1/3であったことを参考に助成単価を4, 000円とする。

種苗費・肥料費 12,107円(10a当たり全国平均) $= 12,000円 \times 1/3 = 4,000円$

対象面積(見込) 5, 492.28ha

⑥ 実施した場合の影響・効果(財源措置及び複数年のコスト計算を含む。)

【影響・効果】

次期作に対する支援を行うことで、本市稲作農家の生産意欲の向上と生産継続が図られる。

【市財政への負担】

事業費合計 223,350千円

補助金交付額 5, 492. 28ha×4, 000円/10a ≒ 219, 700千円 事務費

消耗品費 300千円

(財源) 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 (国) 10/10 充当予定

⑦ 他の自治体の政策との比較検討

大崎市 予算規模: 3億6,000万円(単価: 4,000円/10a) 栗原市 予算規模: 2億7,000万円(単価: 4,000円/10a) 岩沼市 予算規模: 3,488万円(単価: 4,000円/10a) 山元町 予算規模: 3,000万円(単価: 4,000円/10a) 大和町 予算規模: 6,400万円(単価: 4,000円/10a)

⑧ 今後の予定及び施行予定年月日

令和3年12月 市議会第4回定例会に関係補正予算案について追加提案

要領の制定

令和4年 1月 交付申請受付・交付決定

2月 実績報告3月 助成金交付

9 その他

次期作に向けた支援であることから、農業者へ円滑に補助金を交付するため、農業関係団体が構成員となっている石巻市農業再生協議会が補助金交付に関する事務手続きを行う。

JAいしのまき管内の東松島市と連携し次期作支援を行う。